

2024年度 活動報告・2025年度 活動計画

調査研究委員会

2025年6月

調査研究委員会 委員長
板谷 英彦

目次

1. 部会・委員会の概要

1.1. 中期（3年）の活動方針

2. 2024年度 活動報告

2.1. JIRA市場統計（売上統計）

2.2. JIRA市場統計（受注統計）

2.3. 導入実態調査

3. まとめ

1. 中期（3年）の活動方針

- 技術の進展や医療現場のニーズを踏まえ、即時性をもって画像医療システムの市場動向等、基礎データの収集を継続的に実施する。
- 会員企業の事業環境、事業形態などの環境変化に合わせて実施する調査・研究を改善していく。
- 昨今の画像診断機器市場が複雑かつ予測が困難な状況を鑑み、会員企業の開発意欲を促進し、タイムリーな市場予測が提供できるよう立ち上げた受注統計の利用を推進する。
- JIRA基盤活動の充実に適合する対応として、デジタル技術のWeb技術等を活用
 - 集計精度の向上を支援可能なシステム(JIRA-Stat)を用いたJIRA市場統計システムの円滑な運営と信頼性向上に向けた活動を継続する。
 - 「画像医療システム等の導入状況及び安全性確保状況に関する調査」(以下、導入実態調査と記す。)にもWebによる調査形態へと変化を加え継続・実施する。

2.1. JIRA市場統計(売上統計)

1. JIRA市場統計の概要

- 調査対象：画像医療システムの生産高・輸出高・輸入高及び国内市場
- 調査品目：92品目(プログラム医療機器3機種を2017/4から追加)
- 調査間隔：月単位
- JIRA会員の中で統計参加協力企業

JIRA市場統計の特質

- 統計参加企業の集計結果
- 自主統計
- 即時性

2. 市場統計の報告・公開

統計参加企業への報告

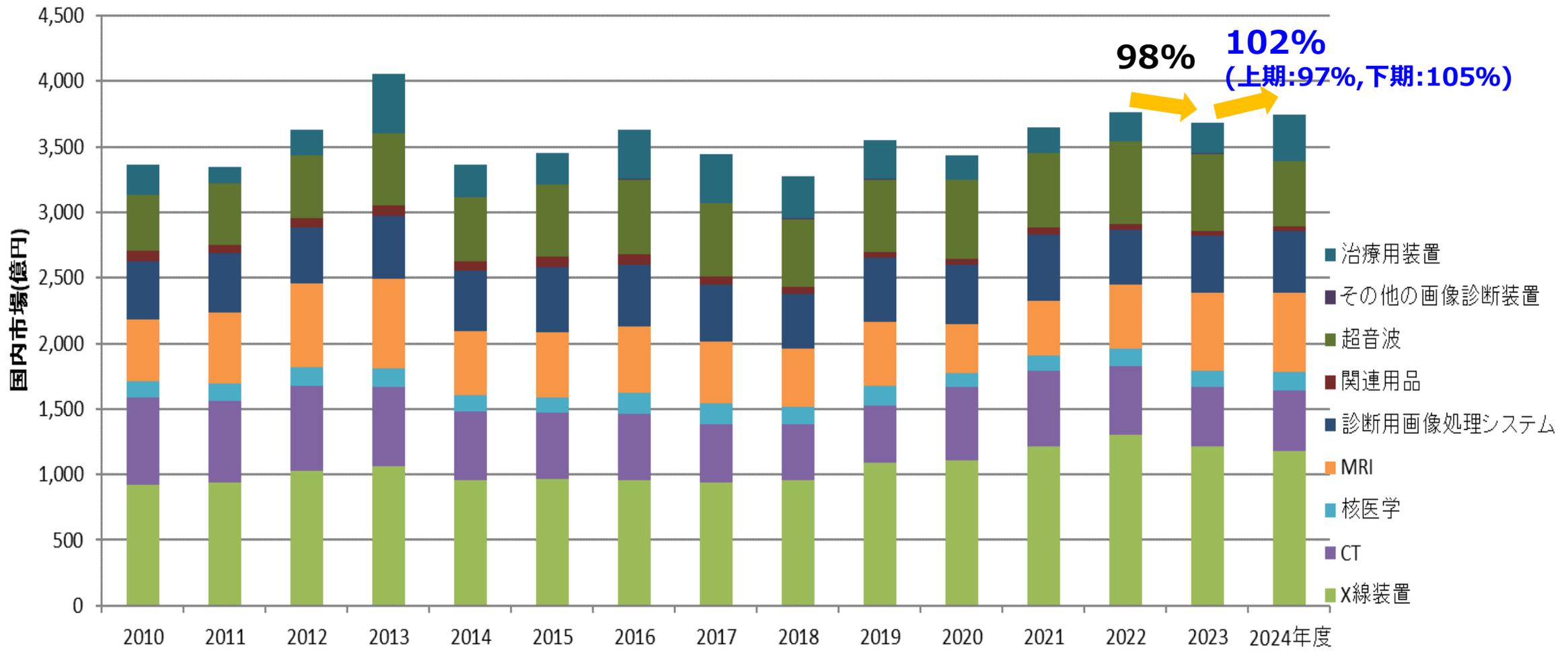
- 専用の市場統計Webシステム(JIRA-Stat)にて、月、四半期、半期、年度、暦年ベースで、**全ての品目(詳細表)**について毎月報告

一般会員等への公開

- **JIRAホームページ**の「JIRA市場統計（一般会員向け）」ページにて、四半期、半期、年度、暦年ベースで、「**総括表**」と「**レビュー**」を四半期毎に公開
- JIRA会報において、年度のデータを公開
- 2024年度のデータは、一般に対してはData Book 2025で概要を公開

ルールに従った確実な運用を継続

2.1. JIRA市場統計(売上統計) 国内市場15年間の動向



東日本大震災
2011/3

消費税8%
(2014/4)

消費税10%
(2019/10)

COVID19
影響
(2020/3~)

2.2. JIRA市場統計(受注統計)

1.目的

行政施策や感染症の拡大など、市場環境の大きな変化の影響をよりタイムリーに把握するために、受注から納品まで比較的長い期間を要する大型画像診断関連装置について、従来の売上ベースの市場統計に加えて、新たに受注ベースでの市場統計の運用(22年度運用開始)

2.対象品目

循環器用X線透視撮影装置、X線CT装置、診断用核医学装置、診断用磁気共鳴装置

3.活動実績

2021年7月 受注検討ワーキンググループ(調査研究委員会内)設立

2022年5月 システム運用開始。以後、毎月受注統計参加企業からの集計値の確認を実施

4.公開方法

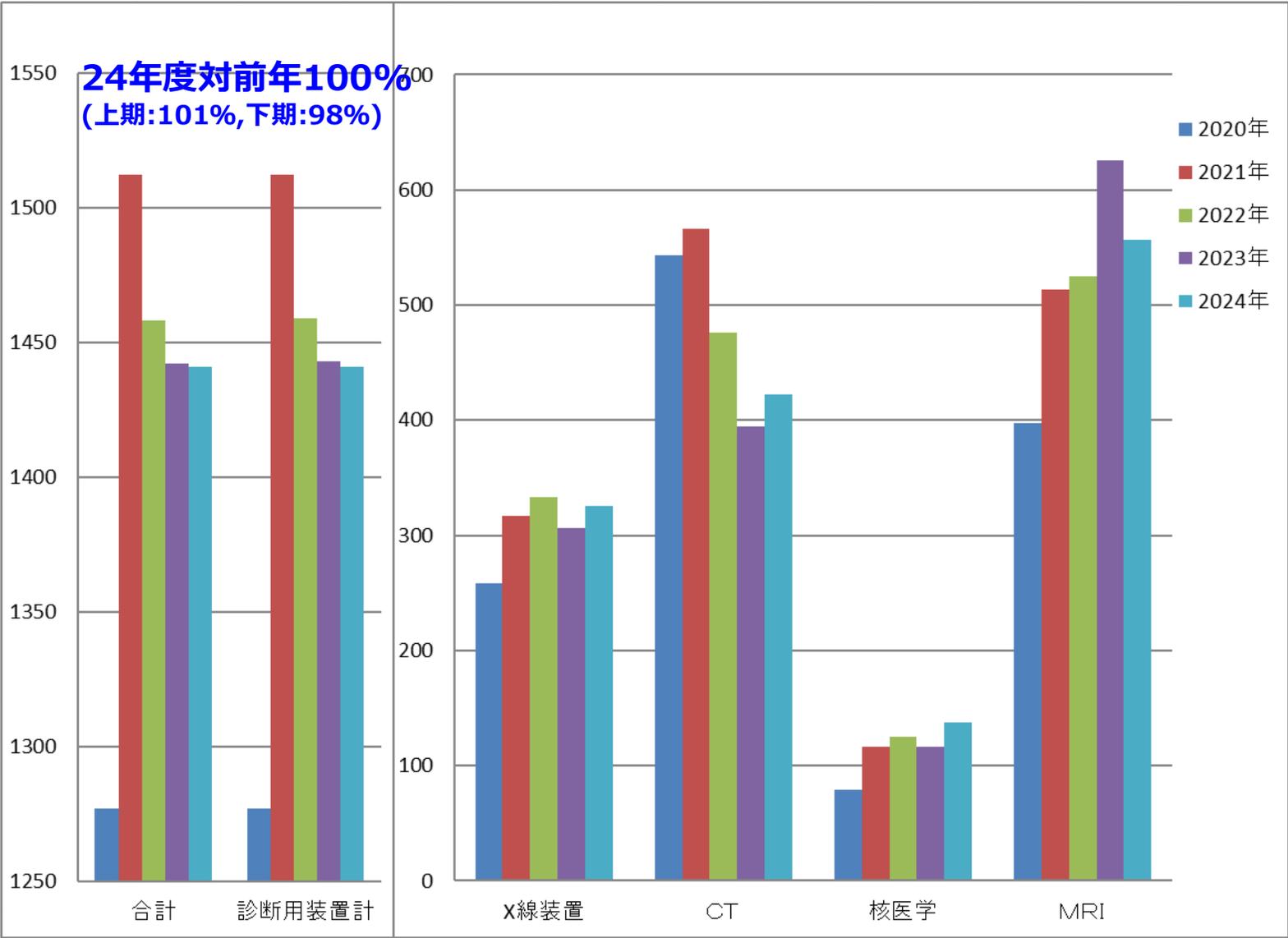
統計参加企業への報告

専用の市場統計Webシステムにて、月、四半期、半期、年度、暦年ベースで報告

一般会員への公開

四半期ごとに受注統計をJIRA HP公開

2.2. JIRA市場統計(受注統計) 国内市場5年間の動向



2.3. 導入実態調査

1. 調査の概要

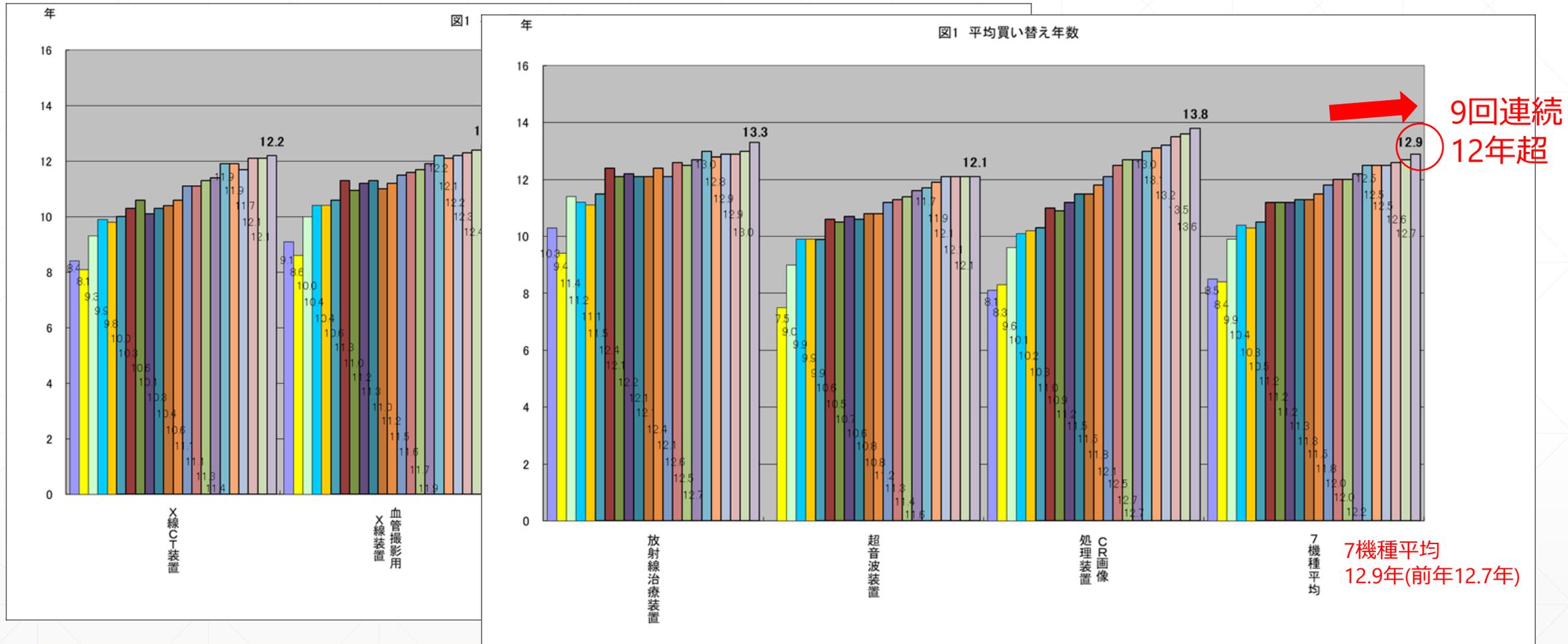
「画像医療システム等導入状況と安全確保状況に関する調査」*1988年から継続
医療機関における画像医療システムの導入状況、安全点検・安全確保の実態などの2024年度の調査（第22回）は、2024年11月から12月にかけて実施。

- 全国の**医療施設を4つの病床群別**（99床以下,100床～299床,300床～499床,500床以上）に分類
その中から**無作為に抽出した1,000施設**の放射線部門技師長宛にアンケート用紙を郵送し、
得られた回答(394施設)を集計・分析

2. 結果概要

- 医療機器の長期使用が進み、保守管理の重要性が増す中で、院内の点検を含む保守点検の実施率がなかなか向上しないという状況は、患者の安全確保の観点からもまだ十分には進んでいないと捉えています。
- 調査報告書本体には、診断用モニタの品質管理状況、MDS(セキュリティ開示書)の入手状況、厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」の対応状況などの結果や、各種クロス集計も含まれます。
- 今回の調査は、前回アンケートは回答いただけなかった施設を対象に、改善を目的としたヒアリングを行い、調査設問の見直しを実施。(回答率は、対23年度比4ポイントUP)

2.3. 導入実態調査 平均買い換え年数

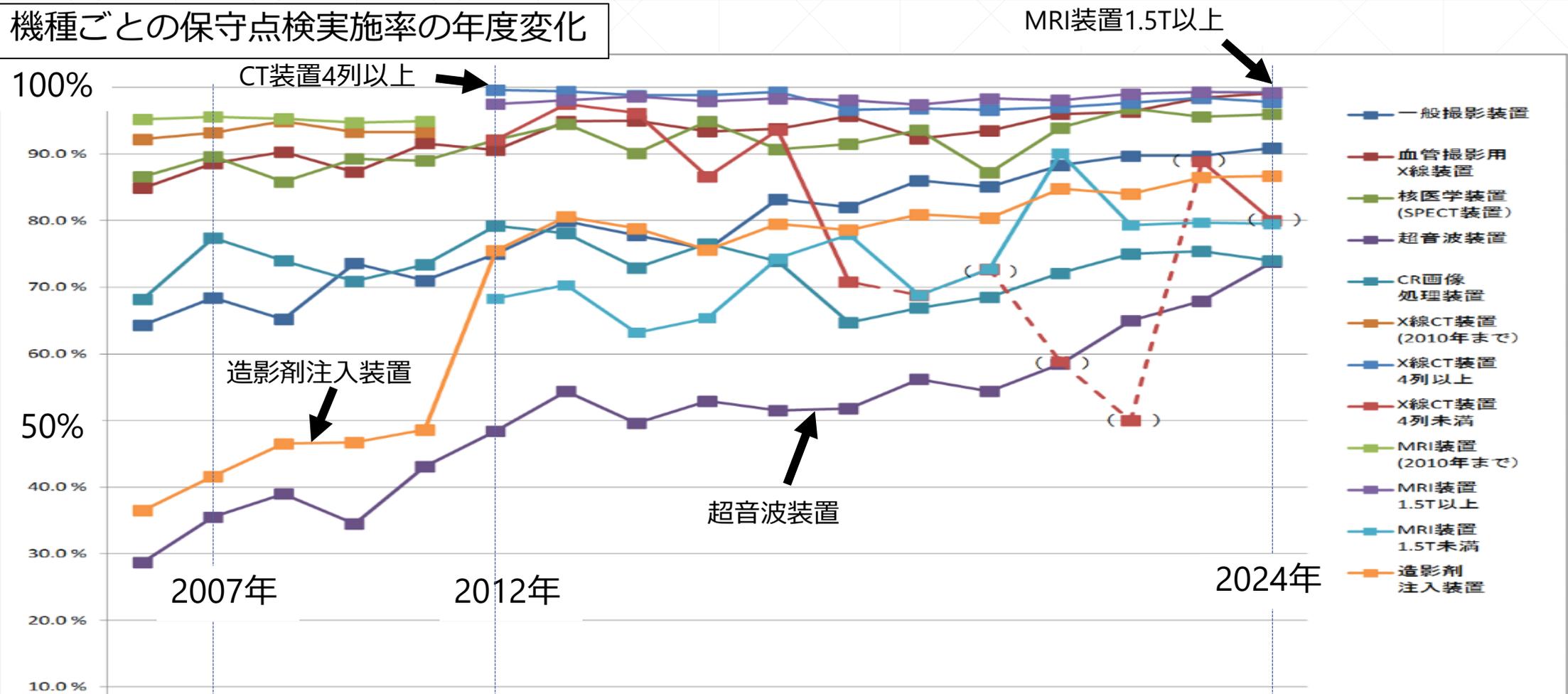


代表的7機種の平均使用期間：12.9年(前年12.7年)

2008年の第7回調査から16回連続して“11年”を超え、2016年度から平均使用期間は12年となり、その後も高止まりの傾向を示し、長期使用化。

2.3. 導入実態調査 保守点検実施率

機種ごとの保守点検実施率の年度変化



今まで実施率の低かった機種は増加傾向、機種間の実施率の差は小さくなりつつある。全ての医療機器の保守管理実施が義務化になってから17年半が経過していますが100%に達しておらず停滞傾向。

3. まとめ

1 市場統計

- 2024年度(2024年4月~2025年3月) 画像医療システム国内市場：3,747億円(102%)
生産(100%) 輸出(103%) 輸入(111%)
- 市場統計説明会(VOD)：2025年1月17日～1月31日
- 受注統計：対象4品目合計：1,441億円(100%)

2 導入実態調査

- 平均買い替え年数：12年超、保守点検実施率：機種間の実施率の差は小さくなりつつある。
しかし、全体の保守点検実施率は停滞傾向。
- 導入実態調査の説明会(VOD)：2024年11月15日～30日

3 お願い事項

- 2025年度も市場統計、導入実態調査を継続実施し、改善・改良していきます
引き続きのご理解ご協力をお願いいたします



*調査・研究委員会HP：<http://www.jira-net.or.jp/commission/tyousa/index.html>

ご視聴
ありがとう
ございました

JIRA

一般社団法人 日本画像医療システム工業会
Japan Medical Imaging and Radiological Systems Industries Association